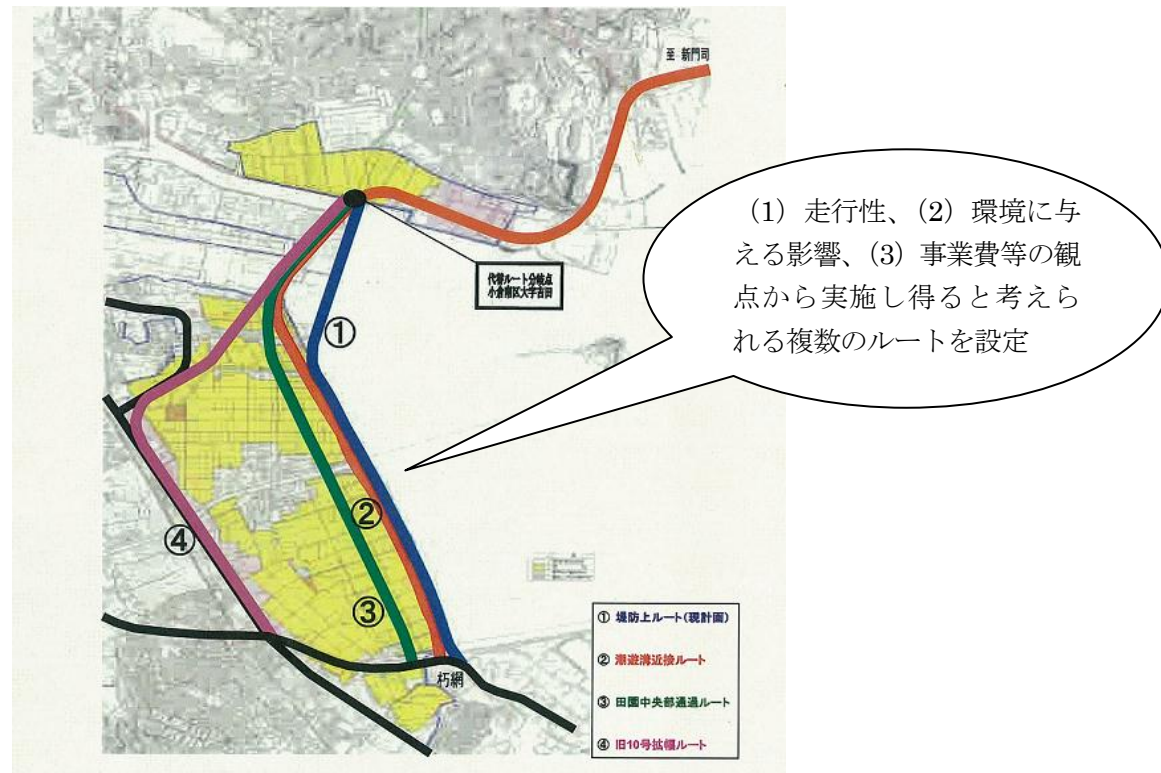


<参考> 複数案の比較による予測・評価（事例：北九州市都市計画道路6号線整備事業）

1 複数のルートの設定

検討ルート	ルート概要
① 堤防上ルート (現計画ルート)	現在の海岸堤防上に一体で道路を整備するルート案
② 潮遊溝近接ルート	海岸堤防横の既設潮遊溝に近接して内陸部に道路を整備するルート案
③ 田園中央部通過ルート	海岸堤防から、約300m内陸部の位置で、曾根新田の中央部に道路を整備するルート案
④ 旧10号拡幅ルート	曾根干潟に近いルートを避けて、旧国道10号（主要地方道門司行橋線、2車線）を4車線に拡幅して道路を整備するルート案



2 評価項目の選定

環境要素	指標	環境要因
大気質	二酸化窒素、粒子状物質、ベンゼン、粉じん	工事の実施、施設の供用
騒音・振動	騒音、振動	工事の実施、施設の供用
水質、地下水	水の濁り、地下水の汚れ・水位・流れ	工事の実施、施設の存在
動物・植物	重要な種及び注目すべき生息種、生態系	工事の実施、施設の存在
景観	主要な眺望点、景観資源	施設の存在

3 各案の環境面から見た影響の程度及びその評価

		①堤防上ルート	②潮遊溝近接ルート	③田園中央部通過ルート	④旧10号線拡幅ルート
大気環境	騒音	工事の実施 評価 ◎ 事業実施区域の周囲100mに住居等保全対象はなく、環境への影響は小さいと考えられる。	評価 ○ 事業実施区域の周囲100mに住居等保全対象はなく、環境への影響は小さいと考えられる。	評価 ○ 事業実施区域の周囲100mに住居等保全対象はなく、環境への影響は小さいと考えられる。	評価 △ 事業実施区域の周囲100m以内に多数の住居が存在する。
	自動車 の走行	評価 ◎ 大型車の市街地通行は回避されている。沿道に病院等特に配慮を要する施設はない。	評価 ○ 大型車の市街地通行は回避されている。沿道に病院等特に配慮を要する施設はない。	評価 ○ 大型車の市街地通行は回避されている。沿道に病院等特に配慮を要する施設はない。	評価 △ 大型車が市街地を通行し、地元住民の生活に影響を与える。
動植物	植物 の存在	評価 △ 事業実施区域は、護岸及び開放水路である。護岸の再整備や潮遊溝の付け替えが必要となり植物に対する影響が大きい。	評価 ○ 事業実施区域は、水田雑草群落等人工植生が大部分を占める。重要な植生（群落）として、コギシギシ、カワジシャが確認されている。	評価 ○ 事業実施区域は、水田雑草群落等人工植生が大部分を占める。重要な植生（群落）として、コギシギシ、カワジシャが確認されている。	評価 ◎ 事業実施区域は、市街地であり、重要な植生（群落）は確認されていない。

注) ◎：他の計画に比べて優れている。 ○：他の計画と同程度 △：他の計画に比べ劣っている。

4 環境面の総合評価のイメージ

環境面の課題や留意事項を示し、環境面でより望ましい案や折衷案を示す。

(本事業における総合評価の例)
【各案のメリット、デメリットを比較し、事業地域の特性、本市における環境面での課題等の総合評価の視点を明らかにした上で評価を行う】
 ……以上により、事業地域の特性及び環境面からの課題等を考慮すると、施設の供用時の騒音の影響が小さく、また、植物への影響が少ないと考えられる、②案又は③案が優れていると評価される。
 ただし、②案を採用する場合には、コギシギシ等の保全について十分な検討を行う必要がある。また、③案を採用する場合は、……。